

愛知県 「愛知環境賞」で表彰式 アルメックなど受賞

【名古屋】愛知県は15日、名古屋市中区のロースコートホテルで資源循環や環境負荷の低減を目的とした先駆的な事例を募集し、優

れた取組を紹介する「愛知環境賞」の表彰式を開催した。金属関連企業からは金属リサイクル大手のアルメック（愛知県豊明市）やアツタ起業（愛知県愛知郡東郷町）が優秀賞を受賞。それぞれ共催しているEPOCの水



左から大村・愛知県知事、星河・アルメック社長、水野・EPOC会長

野明久会長（中部電力会長）から表彰状とトロフィーを授与された。

14回目となる今回は、企業、団体などから46件の応募があり、愛知環境賞選考委員会による審査の結果、金賞2件、銀賞1件、銅賞2件、中日新聞社賞1件、名古屋市長賞1件、優秀賞8件の合計15件を選定。冒頭あい

さつに立つた大村知事は「愛知は日本一の産業県だが、環境面でもトップランナーを目指しており、その高い水準の充実した取組を全国に発信していき

きた。国際的な環境対策動向も踏まえ、環境と産業、経済が調和し好循環する都市としての愛知の確立に向かっていく」とあいさつした。受賞対象事業の名称はアルメックが「業界初の『水を使ったJIGによる金属残さの選別』で、アツタ起業が「高精度マイクロ技術開発で、後工程の減少と薄肉軽量化による

大幅な環境負荷低減の達成」。アルメックは、分別が困難だった微細な金属廃棄物について、比重液などを使用せず水のみを使用し分別できる独自性の高い方法の構築により、環境負荷が少なく再資源化率も大幅に向上できる点が循環型社会の形成に大きく貢献するものと高い評価を受けた。